

令和6年度 第2回 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和6年10月23日(水) 午後2時00分から午後3時00分

場 所 市役所地下1階 団体研修室

出席者 三浦健会長、向井智之委員、渡辺浩隆委員、石川由佳委員、野村正剛委員、齋藤潤委員、吉田鈴美委員、山本幸子委員、山寄幸子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、瀧口博史委員、會澤奈穂子委員

関係者 【ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富】碓水裕也、倉持由美子
【秋桜ヴィラージュ鎌ケ谷】星健一、高橋邦明、鈴木智之
馬場武士(地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム)

欠席者 菊地謙副会長、渡邊輝江委員、山崎馨子委員、勝又和久委員、森井真理委員、今井崇徳委員(鎌ケ谷市社会福祉課長)、舟波早苗委員(鎌ケ谷市健康増進課主幹)

事務局 【障がい福祉課】遠藤善治課長、高橋奈帆子庶務係長、加藤圭一郎
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺恵美子所長、坂巻美佳、恩田信幸、岩室優子

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・令和6年度鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿
- ・資料1 グループホームのサービス内容、報告・評価シート他
- ・資料2 地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告および諮問事項について
- ・チラシ 6自治会合同 五本松小学校区防災訓練
- ・チラシ 「はたらく」障がい者をめぐる動きについて～その現状と企業の取組み～

<本日の傍聴人および会議の出席状況について>

事務局より、出席者数(13名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていることおよび傍聴者が0名であることを報告した。

<委嘱状交付>

障がい福祉課長より鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会(以下「協議会」という。)の新規委員に委嘱状を交付した。続いて委員全員の自己紹介を行った。

日中サービス支援型グループホームにおける協議会の報告・評価について

事務局より資料1「グループホームのサービス内容」を基に、日中サービス支援型グループホームの役割、日中サービス支援型グループホームの報告・評価について説明し、評価対象の「ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富」と「秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷」を紹介した。

●ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富より資料1「報告・評価シート」について説明があった。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いします。

委員

ボランティアを受け付けていない理由を教えてください。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

本社と協議をしているが、まだ受け入れ体制が整っていない。

委員

人員配置について、世話人や生活支援員の常勤換算は時間換算ということか。人員配置における夜間とは何時から何時をさすか。夜間の人員が少ないが、災害対策の安全確保はできているのか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

時間換算である。正社員2名、パート10数名で運用しているためこのような数値になっている。夜間とは22時から翌朝5時までである。災害対策についてはBCPで定めており、委員会や訓練も実施している。

委員

夜間は特にしっかり意識を高めてやって欲しい。

●秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷より、秋桜ヴィラージュご案内資料、資料1「報告・評価シート」について説明があった。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いします。

委員

流山は男性棟のみか。

秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷

そうである。

委員

短期入所を90日以上利用の方がいることについて説明してほしい。

秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷

この入居者は精神的に不安定になり急遽受け入れた。他のグループホームに体験には行っているが、断られてしまい期間が長くなっている。

会長

そういう方の通院はグループホームが対応しているのか。

秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷

先日発熱してしまった際は、相談員に連絡し相談員から家族に連絡をとり、家族の対

応が難しかったためグループホームが対応した。

事務局より資料1「評価実施のながれ」を基に説明した。年1回以上の評価を行う必要があるため11月8日（金）までに「意見提出票」の提出をお願いした。

地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告および諮問事項について

事務局より資料2「地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告および諮問事項について」を基に各チームの報告を行った。

（1）障がい者の働くを支えるチーム

商工会議所部会員の約350社に対して障がい者雇用に関するアンケートをお願いしたが、回答は2社のみであった。今後は、障がい者本人に対するアンケートの実施を検討し進めている。

（2）地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

一昨年度に鎌ケ谷市の移動支援事業について「提言書」を提出した。移動支援の通学利用については、今年度より緊急時の利用が可能となっている。今年度は、担い手不足を解消するため移動介護従事者を養成する研修を実施したい。研修会の実施と講師謝礼金を協議会の予算より支出することについて承認をお願いしたい。

（3）障がい者のつながりを支えるチーム

支援者が対応に困った際に使用する「困った！どうする!?支援者向けシート」を作成した。今年度は、配布したシートの活用方法やポイントを関係機関に対して説明するため、事例を通して有効活用する方法を分かりやすくしていく。

（4）障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

障がい者本人や家族と福祉サービス事業所や当事者団体とのマッチング機会とするため、昨年度も実施した「福福フェア」を今年度も開催したい。令和7年1月26日（日）に開催予定。開催の承認をお願いしたい。

（5）精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

地域と精神科医療機関とのスムーズな連携を図るため「つながるシート」「状況チェックシート」「情報提供書」の活用を相談支援事業所にもお願いした。活用状況を確認しながら有効活用できるようブラッシュアップをしていく。

（6）医療的ケア児支援チーム

昨年度、災害時の非常用電源等について「提言書」を提出した。今年度4月より非常用発電機等の助成が開始され、市のホームページにも掲載されている。今年度は、医療的ケア児等コーディネーターの配置も検討しており、会議を予定している。

事務局より協議事項および諮問事項の説明を行った。

会長

ここまでの説明について質疑があればお願いしたい。

委員

移動介護事業所の職員は、千葉県移動介護従事者養成研修による有資格者ということか。

関係者

鎌ケ谷市は、この研修を受けて資格を取れば勤務することができることとなっている。

委員

この研修の参加費 5,000 円は全額本人負担なのか。補助はないのか。

関係者

そうである。5,000 円は教材費であり、他市では講師料も含め 8,000 円で行っている。

委員

「つながるシート」について実際に上がっている声を聞かせて欲しい。

事務局

「つながるシート」がこの形になる前に、市役所内の相談を受ける部署の方々に使ってもらい改善した経緯がある。現状は、使い方を説明してまわっている段階で、例えば高齢者のケアマネージャー、障がいの相談支援専門員等に説明している。よって感想等が分かるのはこれからとなる。

会長

地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチームの千葉県移動介護従事者養成研修の実施と、併せて協議会の予算から講師謝礼金を支出することについて採決をとる。承認する委員は挙手をお願いする。

→挙手多数により承認

会長

障がい分野の情報を発信・啓発するチームの「福福フェア」開催について採決をとる。承認する委員は挙手をお願いする。

→挙手多数により承認

会長

各テーマ別チームが、現在進行して検討している内容・課題に継続して取り組むことでよろしいか。承認する委員は挙手をお願いする。

→挙手多数により承認

その他

事務局より「チラシ 6 自治会合同 五本松小学校区防災訓練」および「チラシ 「はたらく」 障がい者をめぐる動きについて～その現状と企業の取組み～」について説明した。

会長

他になれば以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和6年11月6日

氏 名 櫻澤 美智子 _____

氏 名 山 寄 幸子 _____